

平成23年度『新結合プラン』取組実績(一覧)

平成24年9月13日
中国地域産学官コラボレーション会議

事業名	主体機関	連携機関	平成23年度実施内容	平成23年度に生まれた成果	24年度(計画)
中国地域国立5大学連携によるバイオマス意見交換会	中国経済連合会 中国経済産業局	23機関 産:中国経済連合会、企業11社、(社)中国地域ニュービジネス協議会、(公財)ちゅうごく産業創造センター 学:鳥取大学、島根大学、岡山大学、広島大学、山口大学、鳥取環境大学、(独)産業技術総合研究所 官:(独)科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ広島、中国経済産業局	木質バイオマスに関して産業界・社会が抱える共通的な技術課題・ニーズについて、産学官が自由に意見交換を行う会合を5回開催 ・幹事会(H23.5.19) ・第1回意見交換会(H23.8.2) ・第2回意見交換会(H23.8.31) ・第3回意見交換会(H23.9.29) ・第4回意見交換会(H23.10.26)	・平成24年度から、木質バイオマスの利用拡大に向け、共同研究への移行を視野に入れて検討に取り組み具体的な10の研究テーマを抽出 ※このうち3テーマは公募事業へ応募中(H24.5現在)	継続実施(新テーマ)
『キャンパスベンチャーグランプリ中国』10周年記念シンポジウム	中国経済連合会	8機関 産:中国経済連合会、日刊工業新聞社 学:県立広島大学、広島大学、福山大学、広島修道大学、安田女子大学、近畿大学工学部	日時:平成23年8月29日(月)13:30~16:30 場所:県立広島大学(広島キャンパス)教育研究棟1 1175講義室 主な内容: ・講演(学生向け):2件 ・教員によるトークセッション「ベンチャー創出・起業及び人材育成に関する現状の課題と今後の取り組み」	・参加大学の現状と課題および問題意識の共有 ・大学間の緩やかな連携・ネットワークの構築に向けたきっかけ作り	継続実施(新企画)
第10回キャンパスベンチャーグランプリ中国	中国経済連合会	産:中国経済連合会、日刊工業新聞社 学:中国地域の各大学(大学院)、高等専門学校、短期大学、専門学校	応募期間:平成23年9~11月 応募総数:25校・170件 表彰:最優秀賞2件(テクノロジー部門、ビジネス部門) その他優秀賞など14件	・起業家精神の醸成 ※過去最多の25校・170件の応募 ※最優秀賞の1件(ビジネス部門)は、全国大会で特別賞を受賞	継続実施
産総研 本格研究ワークショップ in 東広島	(独)産業技術総合研究所 中国センター	7機関 産:中国経済連合会、(公財)ちゅうごく産業創造センター(社)中国地域ニュービジネス協議会、(独)中小企業基盤整備機構中国支部 学:国立大学法人 広島大学 官:中国経済産業局、広島県	産総研は、オープンイノベーションハブ機能の強化を目指す一環として、オール産総研の研究シーズを地域に紹介し、地域の課題解決に貢献することを目的に「産総研本格研究ワークショップ」を開催しています。 (平成23年度の概要) テーマ:再生可能エネルギーの本格導入に向けた課題と今後の取り組み 日時:平成23年12月12日(月)13:00~19:00 会場:広島大学 サタケメモリアルホール(東広島市) 参加人数:260名 ※ポスターセッション、技術相談コーナー開設		継続実施
産業活性化、地域振興等に関する調査事業及びフォローアップ事業	(公財)ちゅうごく産業創造センター	産・学・官の有識者をもって構成する委員会により調査・審議 産:賛助会員企業により推薦された有識者 学:調査テーマに識見を有する中国地域等の大学の教授・准教授 官:国・地方自治体	【テーマ】 1. 中国地域における自動車用二次電池及び太陽光発電関連装置等のリユース・リサイクル産業の創出に向けた可能性検討調査 2. 地産エネルギーを活用した中小企業工場のエネルギーマネジメントシステム構築の可能性調査 3. IT活用による若者の観光行動誘発方策検討調査 4. 市民協働によるソーシャルビジネス展開を通じた産業振興可能性調査	左記の4テーマについて、課題の抽出及び提言を取りまとめた報告書を作成した。	4テーマにかかる提言内容の実現化に向けて助成・支援及び調査事業の継続を検討
ネットワーク構築支援事業 1. 研究交流会	(公財)ちゅうごく産業創造センター	産:公募により参加する中国地域の企業 学:シーズ情報を提供いただく中国地域の大学の教授、准教授等 官:中国経済産業局、中国四国農政局、県、公設試	医療福祉機器、電子デバイス、植物工場、機能性食品の4分野で計8回研究交流会を実施し、シーズとニーズの情報提供・出会いの場を提供。	累計623名の参加者があり、内容の満足度は80%であった。	継続実施
ネットワーク構築支援事業 2. 事業化検討会	(公財)ちゅうごく産業創造センター	産:公募により参加する中国地域の企業 学:シーズ情報を提供いただく中国地域の大学の教授、准教授等 官:中国経済産業局、中国四国農政局、県、公設試	・事業化検討会(I) セミナー形式で機能性食品、植物工場、メディカルバイオ分野の事業化、出口戦略の情報提供を計7回実施。 ・事業化検討会(II) 遠隔医療機器、パワー半導体SiC関連の2分野で事業化のテーマを検討。	事業化検討会(I)では累計332名の参加者があり、内容の満足度は77%であった。 事業化検討会(II)では事業化に向けて1テーマが新産業研究会に採択された。	継続実施。 セミナー形式の情報提供型検討会は研究交流会に含め実施。
研究開発プロジェクト推進支援事業 1. 新産業創出研究会	(公財)ちゅうごく産業創造センター	産:中核企業は中国地域の企業で、2社以上の参加 学:大学、高専等 官:中国経済産業局、県、公設試等	地域の新産業創出を目指して、大学・高等専門学校(以下大学等という)の研究シーズをもとに、企業の事業化の視点から技術開発課題・商品開発課題を解決する採択件数:15件(研究費総額:1500万円)	上市に向けた試作品の完成:4件 各種支援機関への応募:2件 当研究会継続:3件	継続実施

平成23年度『新結合プラン』取組実績(一覧)

平成24年9月13日
中国地域産学官コラボレーション会議

事業名	主体機関	連携機関	平成23年度実施内容	平成23年度に生まれた成果	24年度(計画)
研究開発プロジェクト推進支援事業 2. ビジネスマッチング交流会	(公財)ちゅうごく産業創造センター	産:(社)中国地域ニュービジネス協議会、中国地区産業クラスター等サポート金融会議 官:中国経済産業局	産学官連携により地域の新産業創出を目指して、新産業創出研究会の開催および地域イノベーション創出事業等の国の研究開発プロジェクトを受託し、支援している。 これまでに終了したプロジェクトの中から、成功事例として事業化に至ったテーマ、事業化に近いテーマを選定し、技術シーズや開発製品等を紹介して成果の普及を図るとともに、地域の企業、金融機関の方々のマッチングを図り、事業化の促進、販路拡大、開発資金の獲得等を行うため、本交流会を開催した。	交流会開催時および終了後、参加者から発表者に対して、10件の問合せ・相談実績があった。	継続実施
情報発信・啓発事業 1. 産業創出講演会	(公財)ちゅうごく産業創造センター	12機関 産:中国経済連合会、(公財)中国電力技術研究財団、(社)中国地域ニュービジネス協議会 官:中国経済産業局、(独)科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ広島、(独)中小企業基盤整備機構中国支部、(独)産業技術総合研究所中国センター、(財)鳥取県産業振興機構、(公財)しまね産業振興財団、(財)岡山県産業振興財団、(公財)ひろしま産業振興機構、(財)やまぐち産業振興財団	産業・経済界の経営者・技術者を対象に先端技術や技術動向等の最新の話題について講演会を実施し、新たなものづくり、及び新規事業創出に向けての動機づけを行う。 講演:「日本復興のシンボル 東京スカイツリーが秘める最先端技術」 日時: H23年9月14日 14:00~16:00 会場: ホテルグランヴィア広島 参加人数: 266名		継続実施
情報発信・啓発事業 2. イノベーションネットワークによる情報発信	(公財)ちゅうごく産業創造センター	産: ニーズ提供いただいた企業 学: シーズ情報を提供いただく中国地域の大学・高専の連携となる窓口機関 官: 県・公設試	・イノベーションポータルサイトへのシーズ・ニーズ情報の登録およびサイト運用による産業創出の支援	H23年度末で、シーズ登録件数1177件、ニーズ15件、マッチング成立30件	継続実施
事業化促進支援事業 1. 技術事業化評価事業	(公財)ちゅうごく産業創造センター	20機関 産: 中国ニュービジネス協議会、経営コンサルタント、弁理士 学: 広島大学 官: 中国経済産業局 金: 中国地域内の15金融機関	参加金融機関から紹介のあった案件の事業性評価: 「使用済紙おむつの燃料化システムの開発」	第20回中国ニュービジネス大賞特別賞受賞(H24.6表彰)	継続実施
バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリーシステム構築事業	中国地域ニュービジネス協議会	産: 40社 官: 経済産業省、中四国農政局、(独)産業技術総合研究所、(独)酒類総合研究所、(独)水産総合研究センター、中・四国地域自治体 学: 信州大学、京都大学、東京大学、広島大学、広島工業大学、三重大学、岡山大学、鳥根大学等(13大学)	(社)中国地域ニュービジネス協議会は、経済産業省が平成13年から平成21年の間に実施した「産業クラスター計画」に推進機関として参画し、さらに平成23年度地域新成長産業創出促進事業「バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリーシステム構築事業」を実施した。 平成23年度は、前記事業等で構築した産学官連携体制を活用して、中国山地に広く豊富に存在するバイオマス資源を原料として、中国地域の瀬戸内海沿岸に立地する化学産業、石油・石炭関連産業、自動車関連産業、精密機械産業、製紙・製材業等に関連する企業及び公設試等研究機関・大学が連携して、これらが保有する無機・有機化学等に係る技術・ノウハウ・人材等を活用しながら、隣接する地域との連携によるバイオマス・リファイナリーの仕組みを構築し、高付加価値のファインケミカルズ製品等を製造する新事業の創出・拡大を推進した。	化学工業が集積する(全国シェア約11%)と同時に、製材業も集積している(全国シェア約16%)中国地域において、森林資源を活用して、石油に代わるバイオマスのケミカル・マテリアル(薬用・食用・工業原料等)産業を創出し、地域の基幹的産業(林業)の高度化を推進するため、事業化支援、販路開拓等を実施し、平成23年度は、新事業14件を創出(売上等増加額 1億円)した。	中国地域においてバイオマスのマテリアル・ケミカル等の高付加価値利用に取り組み地域企業等を重点的に支援する「バイオマスの高付加価値商品化支援」事業を実施する。
地域づくり連携サミット in 庄原	中国地域ニュービジネス協議会、中国経済産業局	5機関 産: 中国地域ニュービジネス協議会、しようばら産学官連携推進機構 学: 県立広島大学 官: 中国経済産業局、庄原市	「中山間地域における地域資源を活用した地域づくり」をテーマとし、中山間地域の「民間力」に着目し、地域資源の活用、大学との連携及び住民や行政との協働などにより、先見性を持って持続可能なまちづくりや産業おこしに取り組み、成果をあげている地域から、取組みの中核をなす多彩な担い手(民間キーパーソン)及び大学の研究者をお招きし、それぞれの経営理念や成功要因等を学ぶとともに、地域の再生に向けた力強いメッセージを発信した。	平成23年度は、新事業14件を創出(売上等増加額 1億円)した。	継続しない

平成23年度『新結合プラン』取組実績(一覧)

平成24年9月13日
中国地域産学官コラボレーション会議

事業名	主体機関	連携機関	平成23年度実施内容	平成23年度に生まれた成果	24年度(計画)
インテレクチャル・カフェ	コラボレーションセンター(中国経済産業局・中国経済連合会)	9機関 産:中国経済連合会 学:広島大学、県立広島大学、広島市立大学、近畿大学、広島工業大学、広島国際大学、産業技術総合研究所 官:中国経済産業局	複数大学の共催で、各回ごとにテーマを設定して3回実施 ＜第12回＞ 日時:平成23年8月25日(木) 主催:広島大学、近畿大学工学部、広島市立大学 テーマ:ロボット・RTの活用 ＜第13回＞ 日時:平成23年12月13日(火) 主催:県立広島大学、広島国際大学、広島工業大学 テーマ:地球環境とテクノロジー ＜第14回＞ 日時:平成24年1月27日(金) 主催:広島大学、近畿大学工学部、産業技術総合研究所中国センター テーマ:ゲノム情報を用いたタンパク質酵素の産業応用	・人的ネットワークの構築 ・大学技術シーズの情報発信	継続実施
とっとり産業フェスティバル2011	とっとり産業フェスティバル2011、鳥取大学、鳥取県	14機関 産:鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、鳥取大学振興協会、鳥取県産業技術センター、鳥取県産業振興機構、山陰合同銀行、鳥取銀行 学:鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校 官:鳥取県、鳥取市	【鳥取大学】 ①日時:平成23年8月26～27日 ②会場:鳥取県立産業体育館 ③研究発表:153件、企業展示:57社 ④内容:式典の部では、新宅光男氏((株)コーポレーションハルスター)による基調講演や、企業展示ブースや、大学や高専、研究機関などの研究発表などを実施した。 ⑤参加者:1,400名 【鳥取県】 ○とっとり産業フェスティバル2011 & 鳥取環境ビジネス交流会2011 日時:平成23年8月26日(金)、27日(土) 場所:鳥取県立産業体育館 内容:基調講演、山陰発技術シーズ発表会inとっとり、企業展示、研究発表 【鳥取市】 日時:H23.8.26(金)、27(土) 場所:鳥取県立産業体育館 内容:学術機関による研究発表 企業展示 米子工業高等専門学校ロボ・コン	【鳥取大学】 来場者の投票をもとに10件の発表に対し「研究発表優秀賞」を贈呈した。 【鳥取県】 ○環境ビジネス交流会との合同開催もあり異分野の出展企業間の交流を図ることができた。 ○子ども向けの科学教室等との合同開催により県内企業の独自性品等を、県民に広くPRすることができた。 ○大学等の研究成果展示会や研究発表会と企業展示を併せて開催することで、産学官の交流・マッチングの場を提供した。 【鳥取市】 来場者:1,400人(550人+850人) 出展者間の交流や一般来場者への周知が図られた。	継続実施
山陰発技術シーズ発表会inとっとり	とっとり産業フェスティバル2011実行委員会(鳥取大学、鳥取県など)、中国地域産学官連携コンソーシアム	15機関 産:山陰合同銀行、鳥取銀行 学:鳥取大学、島根大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、松江工業高等専門学校 官:鳥取県、鳥取市、鳥取県産業技術センター、鳥取県産業振興機構、鳥取県商工会議所連合会、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会	①日時:平成23年8月26日(金) 13:00～16:35 ②会場:鳥取県立産業体育館・小体育館 ③発表件数:12件 ④内容:大学や高専、研究機関などの各研究者から、企業等へ技術移転可能な技術シーズを12テーマ発表した。 ⑤参加者:87名	発表者への技術相談も行われ、新たな交流が生まれた。	継続実施
ほんまちクラブ	鳥取商工会議所	産:鳥取商工会議所 学:鳥取大学、鳥取環境大学 官:鳥取県、鳥取市、鳥取県産業振興機構 等	第31回 ＜参加者総数 81名、内訳は下記のとおり＞ 会員企業(44名)・大学(18名)・行政(県1名、市6名、産業振興機構3名、産業技術センター5名、その他4名)、 交流会 ＜参加者 64名＞ ＜講演＞ テーマ「世界に通用する製品づくり～」 講師 高石工業(株) 代表取締役 高石秀之 氏 ＜PR・展示コーナー＞ 榊日経鳥取販売 第32回 ＜参加者総数 71名、内訳は下記のとおり＞ 会員企業(48名)・大学(9名)・行政(県2名、市3名、産業振興機構2名、産業技術センター2名、その他5名)、 交流会 ＜参加者 65名＞ ＜講演＞ テーマ「米子高専の産学連携の取り組み～」 講師 米子工業高等専門学校 校長 齊藤正美氏		

平成23年度『新結合プラン』取組実績(一覧)

平成24年9月13日
中国地域産学官コラボレーション会議

事業名	主体機関	連携機関	平成23年度実施内容	平成23年度に生まれた成果	24年度(計画)
セミナー開催「日本経済の現状と国際ビジネスの今後」	米子商工会議所	2機関 産:鳥取県経済同好会西部支部 官:日本貿易振興機構・鳥取貿易情報センター	欧州を中心に続く金融不安、来年に控えた米国大統領選挙、円高基調が続く為替動向等を背景に、国際的には現在の日本経済がどのような状況にあるのか、また今後はどのような方向へ進んでゆくと考えられるのか分析。 参加者43名		未定
中国地域国立大学法人5大学イチ押しビジネス交流会	鳥取大学	5機関 学:鳥取大学、岡山大学、広島大学、山口大学、島根大学	①日時:平成23年8月23日(火)14:30~19:00 ②会場:CIC東京 ③発表件数:5件 ④内容:中国地域の5大学が連携することで、単一大学にないスケールメリットを活かした情報発信を行うことを目的とする。各大学が1件のイチ押し研究シーズの発表を行う。 ⑤参加者:64名	当日の個別相談等も4件行われ、共同研究等に進展する期待もある。	継続実施(大阪地区)
セミナー開催「鳥取県内中小企業向け海外経営戦略」	鳥取大学	4機関 官:(財)鳥取県産業振興機構・とっとり国際ビジネスセンター、(独)中小企業基盤整備機構・中国支部、日本貿易振興機構・鳥取貿易情報センター 学:鳥取大学、中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)	鳥取県内の中小企業(主に機械・電気関連企業)を対象として、海外(とくにアセアン地域)での経営戦略に関するセミナーを産学官が連携して開催することにより、県内中小企業の国際化対応の促進と地域内での産学官連携体制の強化を図る。 参加者29名		未定
山陰(鳥取・島根)発新技術説明会	鳥取大学、島根大学	11機関 産:山陰合同銀行、鳥取銀行、島根銀行 学:鳥取大学、島根大学 官:鳥取県、島根県、鳥取県産業振興機構、しまね産業振興財団、鳥取県産業技術センター、島根県産業技術センター	【鳥取大学】 ①日時:平成23年7月8日(金)11:00~17:20 ②会場:科学技術振興機構 JSTホール ③発表件数:10件 ④内容:山陰の大学や高専、公設試などの各研究者から、企業等へ技術移転可能な技術シーズを10テーマ発表した。 ⑤参加者:543名(延べ人数) 【島根大学】 山陰地域(鳥取・島根)の大学・公設試の連携により実施、合計10件のシーズ発表を行った。 詳細は以下ご参照: http://jstshingi.jp/san-in/2011/index.html	【鳥取大学】 当日の個別相談も8件行われ、新たな交流が生まれた。特許ライセンスに発展したテーマもある。 【島根大学】 成果創出に向けて、フォローアップを実施中	継続実施(H24年度は7月13日に開催)
食品分野研究シーズ発表会in大田	主催:国立大学法人鳥根大学、島根県、公益財団法人しまね産業振興財団	7機関 産:大田商工会議所、島根県食品工業研究会、 学:島根大学、中国地域産学官連携コンソーシアム 官:鳥根県、しまね産業振興財団、大田市	・島根大学生物資源科学部、教育学部、医学部、島根県立大学の県内教育研究機関に加えて、広島大学、鳥取大学からもご発表を頂いた。	・県内食品産業各社の産学官連携に対する理解の促進 ・研究者と企業とのマッチング	未定
しまね情報分野産学交流会 2012	主催:国立大学法人鳥根大学、独立行政法人国立高等専門学校機構 松江工業高等専門学校、島根県、松江市、公益財団法人しまね産業振興財団	7機関 産:社団法人島根県情報産業協会、しまねOSS協議会 学:島根大学、松江工業高等専門学校、 官:鳥根県、松江市、公益財団法人しまね産業振興財団	鳥根大学、松江工業高等専門学校と産業界の交流機会を創出し、新たな産学官の取り組みを推進することを目的として、発表会・展示会事業を開催した。	・県内情報産業各社の産学官連携に対する理解の促進 ・研究者と企業とのマッチング	未定

平成23年度『新結合プラン』取組実績(一覧)

平成24年9月13日
中国地域産学官コラボレーション会議

事業名	主体機関	連携機関	平成23年度実施内容	平成23年度に生まれた成果	24年度(計画)
食品開発と健康に関する研究会	(地独)鳥取県産業技術センター食品開発研究所(事務局)	産:食品関連企業、金融機関 学:鳥取大学、米子工業高等専門学校、鳥取短期大学等 官:鳥取県、倉吉市 その他:(財)鳥取県産業振興機構、鳥取中央農業協同組合、(財)日本きのこセンター、倉吉商工会議所、(社)鳥取県栄養士会等	○「食品開発と健康に関する研究会」 日時 3月7日 場所 米子コンベンションセンター第7会議室 内容 話題提供(講演)、分科会報告、情報交換他 ○農・畜産物加工分科会 日時 8月17日 場所 鳥取県立倉吉未来中心 セミナールーム1 内容 講演、意見交換、相談会等 ○水産物加工分科会 日時 3月6日 場所 産業技術センター 食品開発研究所 内容 講演、意見交換	本研究会の話題提供がきっかけで、参画企業が鳥取県ものづくり事業化応援補助金へ応募され、採択された。	継続実施
第6回中海圏域産業技術展「中海ものづくりフェア2011」	中海圏域産業技術展実行委員会(松江市・米子市・安来市・境港市・松江商工会議所・米子商工会議所・安来商工会議所・境港商工会議所・東出雲町商工会・米子日吉津商工会・安来市商工会・まつえ南商工会・まつえ北商工会・ひがしいずも産業支援センター)	産:報道16社(後援)、金融機関11社(協賛)、中海圏域(松江市・米子市・安来市・境港市)内企業 学:鳥根大学、鳥取大学、松江高専、松江工業高校 官:中国経済産業局、(独)中小企業基盤整備機構中国支部、鳥根県、鳥取県、(公財)しまね産業振興財団、(財)鳥取県産業振興機構、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構鳥根職業能力開発促進センター、中海市長会	【松江市】 圏域内各企業・団体等の製品・商品、技術の展示等紹介による圏域内企業間の交流や地域(市民・学生etc)と企業の交流。 圏域外から招致した企業とのマッチング。 ものづくりに関する学官の研究事例展示・発表など。 【鳥根商工会議所連合会】 中海圏域の優れた技術や製品を幅広く紹介するとともに、商談会も行いビジネスチャンスを生み出す。また大学・高専などの研究シーズの発表などを通じ産学官の交流も行った。	【松江市】 圏域内外問わず、本取組みによる新規の取引きが成立。 【鳥根商工会議所連合会】 商談成約件数39件(20社) 見積依頼件数79社(35社) 引合件数111社(36社)	【松江市】 継続しない
産学連携懇談会	松江商工会議所 鳥根大学	7機関 産:松江市内の企業5社、松江商工会議所 学:鳥根大学	鳥根大学の研究施設見学・説明、産学連携について意見交換		
産学連携懇談会	松江商工会議所 松江工業高等専門学校	12機関 産:松江市内の企業11社、松江商工会議所 学:松江工業高等専門学校	松江高専の技術シーズ紹介、産学連携について意見交換、校内施設見学		
新技術創出セミナー	一般社団法人松江テクノフォーラム	産:株式会社アイ・コミュニケーション、山陰クボタ水道用材株式会社、株式会社ワコムアイティ ほか 学:松江工業高等専門学校 官:しまね産業振興財団 合計86団体で構成	○日時:平成24年度2月17日 ○場所:くにびきメッセ ○内容 ・講演 ・技術者顕彰表彰式 ・プレゼンテーションコンテスト ・交流会	鳥根県における企業において自社製品を開発した技術者を表彰するとともに、高等専門学校における研究成果を県や県内企業に周知することで産学官の交流が深まった。	継続実施
技術シーズ育成支援事業 成果発表会	(公財)しまね産業振興財団	産:鳥根県内各企業 学:鳥根大学、松江工業高等専門学校等 官:鳥根県、(公財)しまね産業振興財団	・本事業における研究成果について、各種発表会の場でご発表を頂いた。	・産学官連携に対する県内各企業の理解促進	未定

平成23年度『新結合プラン』取組実績(一覧)

平成24年9月13日
中国地域産学官コラボレーション会議

事業名	主体機関	連携機関	平成23年度実施内容	平成23年度に生まれた成果	24年度(計画)
中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)	岡山大学・鳥取大学	23機関 学:鳥取大学、鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子高専、島根大学、松江高専、岡山大学、岡山県立大学、岡山理科大学、就実大学、津山高専、広島大学、広島市立大学、県立広島大学、広島工業大学、近畿大学(工学部)、福山大学、広島商船高専、呉高専、山口大学、徳山高専、宇部高専、大島商船高専	<ul style="list-style-type: none"> ○運営体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ・CPAS-NET、さんさんコンソ参加機関数の増加 ・目標参加企業数500社の確保 ○人材育成事業 <ul style="list-style-type: none"> ・人材育成事業(知財教育他)を計23回実施 ・経営戦略講演会を計4回実施 ○産学マッチング企画 <ul style="list-style-type: none"> ・JST新技術説明会、シーズ発表会、合同マッチングイベントへの出展を実施。 ・新技術説明会では正会員7校から9件の未公開技術を紹介。延べ304名が聴講し、共同研究2件、サンプルの提供1件などが成立。 ○特色ある取組 <ul style="list-style-type: none"> ・企業の研究取組支援活動(意見交換会)の開催 ・7月に1件の専門家派遣を実施(電力会社)。中小企業への専門家派遣を含めて今後とも継続予定。 ・森林系バイオマスの活用による地域活性化に着目した活動を展開。東日本大震災復興支援事業(瓦礫中の木質系バイオマス活用の提言)や、バイオマス利用をテーマとした経営戦略講演会を開催。 ・未利用資源の有効活用のためのワークショップを開催。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎さんさんコンソ事業への参加状況(平成23年3月比): 正会員校23校(変化無し) 特別会員48機関(1機関増) 登録企業数539社(36社増) CPAS Net ID 1460(40増) ◎産学官連携プロデューサーへの問い合わせ件数は115件(H22年度は110件)とやや増加し、38件(H22年度は43件)のマッチングが成立。 ◎平成25年度以降の、自立化に向け、ビジネスマッチングサイト運営会社との連携を含めた事業体制を検討中。コスト削減のため、データベース移換によるサーバー維持費の削減を行う。 	継続実施
第4回産学官民コミュニティ全国大会inおかやま開催	岡山大学	8機関 学:岡山県立大学、岡山理科大学、岡山大学 官:岡山県、岡山市、(財)岡山県産業振興財団、いわてネットワークシステム(INIS)、関西ネットワークシステム(KNS)	<ul style="list-style-type: none"> ○産学官民コミュニティ全国大会inおかやま 日時:平成22年9月11日(土) 場所:岡山大学五十周年記念会館 内容: 基調講演:岡山大学千葉学長 応援メッセージ:文科省・経済省 全国の活動紹介 講演会参加者:約200名 交流会参加者:約150名(岡大生協南福祉施設ピーチユニオン) <p>※参考資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○第5回産学官民コミュニティ全国大会の開催予定 開催日:平成23年9月3日(土) 開催場所:酪農学園大学(北海道江別市文京台緑町582) 	継続実施
岡山・産学官連携推進会議	岡山県	30機関 産:岡山県経済団体連絡協議会、岡山県商工会議所連合会、岡山県経営者協会、(社)岡山経済同友会、岡山県中小企業団体中央会、岡山県商工会連合会 学:岡山大学、岡山県立大学、岡山理科大学、川崎医科大学、倉敷芸術科学大学、津山工業高等専門学校、岡山商科大学、川崎医療福祉大学、吉備国際大学、中国学園大学、就実大学、岡山学院大学、中国職業能力開発大学校 官:岡山県、岡山県市長会、岡山県町村会、中国経済産業局 その他:日本政策投資銀行岡山事務所、(独)日本貿易振興機構岡山貿易情報センター、(財)岡山県産業振興財団、(社)システムエンジニアリング岡山、(社)中国地域ニュービジネス協議会、(独)中小企業基盤整備機構中国支部、(独)科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ広島	<ul style="list-style-type: none"> ○第11回全体委員会 日時:平成23年11月8日(火) 場所:岡山ロイヤルホテル 内容:岡山・産学官連携推進会議の理組状況の報告等 ○第9回おかやま夢づくり産学官連携推進フォーラム 日時:平成23年11月8日(火) 場所:岡山ロイヤルホテル 内容:おかやま産学官連携大賞表彰式、記念講演等 ○岡山産学官連携センターを中心とした協働事業の実施 内容:100社訪問キャラバン隊、100研究室訪問、おかやまコーディネータ連絡協議会、新しい視点により産業を考察するセミナー等 <p>参考URL: http://okayama-sangakukan.jp/</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・おかやまメディカルイノベーションセンター(OMIC)の開所(平成23年4月) ・おかやま次世代自動車技術研究開発センター(OVEC)の開所(平成23年4月) 	継続実施
津山産小麦に関する農商工連携	つやま新産業創出機構	産:つやま夢みのリグループ各社 学:美作大学 地域生活科学研究所 官:つやま新産業創出機構、津山市、岡山県(美作県民局)	<ul style="list-style-type: none"> 【美作大学】 ①つやま餃子試食会 開催 ②津山産小麦による手びねりパン教室開催協力 【つやま新産業創出機構】 つやま新産業創出機構が事務局を務める津山圏域地元産小麦普及促進協議会で地元産小麦の普及を促進している。作付面積が平成22年度25haから平成23年度には62haになるなど、拡大している。また、平成23年度には岡山県で初めて硬質小麦(強力粉)の収穫も行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 【美作大学】 ①つやま餃子の改良、新バージョン等いくつか新しい商品が発表され、試食に供された。試食評価によって商品の改善をさらに進める予定である。 ②家庭の主婦層などに地元産小麦の宣伝が「できた」。 【つやま新産業振興機構】 津山産小麦100%の皮で地域の特産品を包むというコンセプトで津山餃子を開発。市内12店舗で販売中。全国餃子サミット等にも参加。 	<ul style="list-style-type: none"> 検討中 津山産小麦使った新商品の開発。 津山産小麦を使用する食品関連企業の登録制度の創設。

平成23年度『新結合プラン』取組実績(一覧)

平成24年9月13日
中国地域産学官コラボレーション会議

事業名	主体機関	連携機関	平成23年度実施内容	平成23年度に生まれた成果	24年度(計画)
自動車技術開発支援事業	東広島市・東広島商工会議所	産:東広島商工会議所、自動車関連企業等 学:広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学 官:広島県、(公財)ひろしま産業振興機構、中国経済産業局、東広島市	市内の産学官で構成する「次世代自動車技術研究会」の活動に対する補助事業。 研究会では、次の活動を実施 ○技術研究会/セミナー 日時:平成23年6月7日、9月14日、平成24年3月15日 場所:コロボスクエア、近畿大学次世代基盤技術研究所、東広島商工会議所会館 テーマ:次世代自動車技術、水素利用技術等 ○研究開発プロジェクト テーマ1:高効率電動補機類の研究開発【継続】 テーマ2:高効率エアコンの研究開発【継続】 テーマ3:コンピューターEVの研究開発【継続】	高効率エアコンの研究開発Grが、従来型と比較して大幅に小型・軽量化な熱交換器を試作開発した。	継続実施
起業家養成講座	東広島市・広島大学	2機関 学:広島大学 官:東広島市	○起業家養成講座 日時:平成23年7月9日～7月23日(6日間) 場所:コロボスクエア会議室 内容:「会社設立手順」「起業事例紹介」「資金繰りと資金調達」「ビジネスプラン作成実習」等 参加者数:19名(内修了者9名) ○起業家のためのセミナー ①日時:平成23年12月3日(土)10:00～17:00 内容:創業期の会社のための税金計算セミナー 場所:コロボスクエア会議室 参加者数:9名 ②日時:平成23年12月17日(土)10:00～17:00 内容:創業期・設立後の会社のための実践的経営計画作成セミナー 場所:コロボスクエア会議室 参加者数:14名		継続実施
イノベーション創出若手研究人材養成事業(中国地域5大学連携事業)	広島大学	5機関 学:広島大学、岡山大学、山口大学、鳥根大学、鳥取大学	■実施概要 平成21年7月に「若手研究人材養成センター」を設置。博士課程後期の大学院生及び全国の学位取得後5年以内の若手研究者を対象に、独自の専門に裏打ちされた幅広い知識と興味をもち、新分野に挑戦する活力ある人材を養成するプログラム『地方協奏による挑戦する若手人材の養成計画』を実施中。本プログラムは実務能力の基礎を身に付ける実務コアコースと企業等との連携により幅広い研究展開能力を身に付けるイノベーション研究コースの2つから構成される。平成23年度の実施状況は次のとおり。 1 養成状況 博士課程後期の大学院生5名と学位取得者2名を新たに採用し養成している。 【第1期～V期の養成人数】博士課程後期の学生21人(うち11人養成中)、博士学位取得後5年以内の研究者 8人(うち3人養成中) 2 企業派遣プログラム実施状況 平成23年度:9人参加(連携企業は現在44社) 3 博士人材キャリア相談室 【相談件数】平成23年度:のべ645件 4 シンポジウム等の開催 企業人材セミナー12回、若手研究人材養成シンポジウム1回、成果報告会2回、企業見学会2回、ビジネスマナー講習会2回	博士研究員については、5大学との連携に加え、学会誌等を利用し、幅広く全国から公募している。これまでに5大学を含む他大学、地域の機関等からの応募・問い合わせが数件あった。若手研究人材養成シンポジウム・成果報告会には、他大学等から多数の参加があり、高評価をいただいている。	継続実施
国際産学官連携事業「5大学連携研修会」	広島大学	5機関 学:広島大学、岡山大学、山口大学、鳥根大学、鳥取大学	昨年度に引き続き、中四国地域の産学官連携CDや関連事務職員を対象に、国際法務・契約人材の育成を目的にした研修会を開催した。 (1)国際産学官連携戦略研修会 ①平成23年9月30日 ホテルグランヴィア広島 “産学官連携に係るリスクマネジメント”をサブタイトルとして、本学顧問弁護士やオックスフォード大学の教授らが講演。参加者は70名。 ②平成23年12月8日 広島ガーデンパレス 平成23年9月16日に改正された米国特許法に関するセミナー。参加者85名。 (2)国際産学官連携戦略シンポジウム 平成24年1月20日 ホテルグランヴィア広島 “更なる国際産学官連携活動の活性化を目指して”をテーマに 本学顧問弁護士や海外の専門家などが講演。参加者106名	本研修会は、国際法務・契約に関する役に立つ内容で構成しており、受講者からは評価が高く、国際法務・契約人材の育成に貢献している。	継続実施

平成23年度『新結合プラン』取組実績(一覧)

平成24年9月13日
中国地域産学官コラボレーション会議

事業名	主体機関	連携機関	平成23年度実施内容	平成23年度に生まれた成果	24年度(計画)
地域産学官共同研究拠点整備事業「ひろしま医工連携・先進医療イノベーション拠点」	広島大学、広島県、中国経済連合会	<p>20機関、オブザーバー2機関(ひろしま医工連携イノベーション推進協議会)</p> <p>産: マツダ(株)、三菱重工業(株)、湧永製菓(株)、ダイキョーニシカワ(株)、(株)東洋高圧、中国経済連合会、広島商工会議所</p> <p>学: 広島大学、県立広島大学、広島市立大学、近畿大学工学部、広島工業大学、広島国際大学、広島国際学院大学</p> <p>金: (株)広島銀行</p> <p>官: 広島県、広島市、(公財)ひろしま産業振興機構、(独)産業技術総合研究所、(財)ちゅうごく産業創造センター</p> <p>オブザーバー: (独)科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ広島、中国経済産業局</p>	<p>【広島工業大恵】 当該拠点に関連した研究活動について ・導入機器の説明会を中心に企業へ利用の働きかけを行なった。 ・機器取扱い等を関連企業へ支援した。 ・技術及び製品開発への活用を案内した。 ・自動車分野医工連携研究会(マツダ(株)を核とした部品メーカー7社)を発足し、NVHカテゴリー研究を行なうこととした。 ・自動車分野医工連携研究会 NVHカテゴリー会議を行ない、情報交換及び意思の疎通を図った。</p> <p>【広島大学】 ・4月28日に本拠点の開所式を実施。広島県知事ほか関係者105名が出席した。 ・開所後、本拠点に設置した研究用設備機器の操作説明会や普及活動など、主なものだけでも合計41回開催した。参加者は延べ1120人に達した。 ・研究面では、「人間工学応用自動車」、「医療機器・情報医学」細胞治療等先進医療」の各分野で研究プロジェクトを立ち上げ、共同研究を開始した。 ・研究用設備機器の利用に関する要項を整備し、利用料金や手続きを明確にした。 ・本拠点のホームページを開設した。 ・平成23年度地域産学官連携科学技術振興事業「地域イノベーション戦略支援プログラム」の採択を受け、研究開発を担う研究者や人材育成・設備共用化を推進するスタッフを配置するなどして、運営体制の整備に努めた。</p>	<p>【広島工業大学】 共同研究等の成果には至っていない。</p> <p>【広島大学】 ・研究成果 共同研究の実施件数6件 受託研究6件 論文発表12件</p> <p>・マスコミ等の取材・報道状況 テレビ2回、新聞5回</p> <p>・企業や団体等の視察受け入れ 42回</p>	<p>継続実施</p> <p>企業等との共同研究を更に推進する。23年度に開発した人材育成プログラムによる企業人材の育成事業を本格的に開始する。</p>
国際産学官連携事業(中国地域5大学連携事業:英語版研究・技術シーズ集の発行)	広島大学	<p>5機関</p> <p>学: 広島大学、岡山大学、山口大学、島根大学、鳥取大学</p>	<p>海外の展示会や現地駐在CDが海外企業の訪問の際に活用することを目的に、中国地域5大学が有する特徴的な研究・技術シーズ36件を掲載した冊子を発行した。</p> <p>■発行日: 2011年9月 ■掲載シーズ 広島大学 12件、鳥取大学 8件、島根大学 5件、岡山大学 5件、山口大学 6件</p>	<p>本冊子は、海外駐在CDの活動や海外での各種イベントで活用するとともに、PDF版を、HPIに掲載しており、各大学のPRにも役立っていると思われる。</p>	<p>継続しない</p>
2011年度産学官連携による貿易実践講座	広島修道大学商学部【広島商工会議所回答】	<p>12機関</p> <p>産: 広島商工会議所、(公財)ひろしま産業振興機構、日本貿易振興機構広島情報センター、(協)広島総合卸センター、楠ナカイ、NII、三井住友海上火災保険(株)、日本通運(株)広島支店、東洋紙商事(株)、中国経済連合会</p> <p>学: 広島修道大学商学部</p> <p>官: 中国経済産業局、広島市教育委員会</p> <p>金: (株)広島銀行</p>	<p>・実践的教育の充実と地域経済への貢献を目的として、2003年度から実施。輸出実務と海外市場開拓をテーマに、広島を中心に活躍中の専門家を講師に迎え、広島修道大学商学部の学生を対象として、全15回シリーズで実施。</p>	<p>貿易に関する実践的な講座の実施により、将来、広島で活躍し、地域経済の貢献に資する人材の育成の一助となった。</p>	<p>昨年同様、15回シリーズで実施の予定。</p>
近畿大学工学部産学官連携推進協力会	近畿大学工学部	<p>119機関</p> <p>産: (会員)企業93社(協力機関)中国経済連合会、東広島商工会議所、広島商工会議所、呉商工会議所、福山商工会議所</p> <p>学: (協力機関) 広島大学産学連携センター</p> <p>官: (協力機関) 中国経済産業局、広島県、広島県立総合技術研究所西部工業技術センター、同東部工業技術センター、広島市工業技術センター、広島市、東広島市、呉市、福山市、(独)産業技術総合研究所中国センター、(独)科学技術振興機構JSTイノベーションプラザ広島、(財)くれ産業振興センター、(公財)ひろしま産業振興機構、同広島県産業科学技術研究所、(財)ちゅうごく産業創造センター、(財)広島市産業振興センター、同先端科学技術研究所、(財)マツダ財団、(社)中国地域ニュービジネス協議会、(社)発明協会広島県支部、(株)テクノプラザ</p>	<p>○技術発表会・技術交流会 日時: 平成23年6月16日(木)16:40~19:30 場所: ホテルセンチュリー21広島 内容: 会員企業2社及び本学工学部教員1名による研究成果発表</p> <p>○特別講演会 日時: 平成23年10月31日(月)13:00~19:00 場所: 近畿大学工学部 内容: 「未来をつくる EVで変わる暮らし」のテーマで講演(SWdesignTOKYO代表 和田智氏)</p> <p>○近畿大学工学部研究公開フォーラム2011 日時: 平成23年10月31日(月)13:00~19:00 場所: 近畿大学工学部 内容: パネル展示、本学研究報告・企業技術発表、交流会</p> <p>○リカレント講座 日時: 平成24年2月4日(土)、2月18日(土)、3月3日(土)10:00~15:00 場所: 近畿大学次世代基盤技術研究所 内容: 社会人を対象に「学び直し流体の力学」のテーマで講義</p>	<p>研究成果発表</p>	<p>継続実施</p>

平成23年度『新結合プラン』取組実績(一覧)

平成24年9月13日
中国地域産学官コラボレーション会議

事業名	主体機関	連携機関	平成23年度実施内容	平成23年度に生まれた成果	24年度(計画)
産学連携フェア	広島市	<p>9機関</p> <p>産:広島商工会議所</p> <p>学:広島大学、県立広島大学、広島市立大学、広島工業大学、広島国際学院大学、近畿大学工学部</p> <p>官:(財)広島市産業振興センター、広島市</p>	<p>【広島市】</p> <p>○産学連携フェア 日時:平成23年11月2日13:00-17:00 場所:広島市工業技術センター 内容:各大学の研究シーズ紹介(講演会)、個別相談室、広島市工業技術センターの試験機器の視察、助成金交付企業の事例紹介</p> <p>【広島工業大学】</p> <p>11月2日開催の産学連携フェア「中小企業に向けて最もPRしたい研究開発」で工学部機械システム工学科 福島准教授が「流体技術を利用した計測法の紹介」をテーマとした研究シーズの紹介を行なった。</p> <p>【広島商工会議所】</p> <p>本事業を後援 1.各大学の研究シーズ紹介 2.個別相談 3.広島市工業技術センターの試験機器の視察等 4.助成金交付企業の事例紹介</p>	<p>【広島工業大学】</p> <p>具体的な成果はあがっていない。</p>	継続しない
東広島市産学官連携推進協議会	東広島市	<p>8機関</p> <p>産:東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県央商工会、安芸津町商工会</p> <p>学:広島大学、近畿大学工学部、広島国際大学</p> <p>官:東広島市</p>	<p>○東広島市産学官マッチングイベント～再生可能エネルギー産業の創出に向けて～ 日時:平成23年11月28日(月)13:00～17:45 場所:東広島市民文化センター サンスクエア東広島 内容: 東広島発!ものづくり逸品認定証授与式(9件認定) 基調講演:㈱豊国エコソリューションズ 代表取締役 赤田悟氏 大学研究シーズ発表、展示セッション 等</p> <p>○産学連携人材育成支援(リカレント講座)</p> <p>・広島国際大学 講座名:工学アラカルト 日時:平成23年7月30日(土)、8月6日(土)13:30～15:00 場所:コロボスクエア会議室 参加者数:15名(延べ)</p> <p>・広島大学 講座名:溶接・接合技術の基礎講座 日時:平成23年8月20日(土)、8月27日(土)10:00～16:00 場所:広島大学工学研究科111講義室 参加者数:122名(延べ)</p> <p>・近畿大学工学部 講座名:学び直し 流体の力学 日時:平成24年2月4日(土)、2月18日(土)、3月3日(土)10:00～15:00 場所:近畿大学次世代基盤技術研究所2階会議室及び実験室 参加者数:85名(延べ)</p>		継続実施
技術シーズ発掘事業	(公財)ひろしま産業振興機構	<p>産:-</p> <p>学:広島大学、広島工業大学、近畿大学工学部、広島市立大学、県立広島大学、広島国際大学、福山大学、国際学院大学</p> <p>官:(独法)科学技術振興機構(JST)、東広島市産学官連携推進協議会、ひろしま産業振興機構</p>	<p>大学等研究室を訪問し、研究内容の紹介、事業化に向けた意見交換を実施。</p> <p>訪問件数9研究室、参加者延べ342名</p>	<p>企業ニーズにより、新たな研究会「金属腐食防食技術研究会」を設置</p>	<p>研究室訪問10件を予定</p>
広島大学MOT講座	くれ産業振興センター	<p>2機関</p> <p>学:広島大学</p> <p>官:くれ産業振興センター</p>	<p>○ 計2回開催</p> <p>第1回 平成23年10月27日 テーマ「世界初鉛フリーはんだの開発戦略」～人類の歴史5000年への挑戦 場所:広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 参加者:25人</p> <p>第2回 平成24年3月2日 テーマ「ラジカルイノベーションで新世代」 場所:広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 参加者:15人</p>		継続実施

平成23年度『新結合プラン』取組実績(一覧)

平成24年9月13日
中国地域産学官コラボレーション会議

事業名	主体機関	連携機関	平成23年度実施内容	平成23年度に生まれた成果	24年度(計画)
大学等シーズ活用セミナー	くれ産業振興センター	4機関 産: JFEテクノリサーチ(株) 学: <u>呉工業高等専門学校、広島大学大学院</u> 官: <u>くれ産業振興センター</u>	○計3回開催 第1回 平成23年12月15日 テーマ「小さいボルトから大型構造物までのオンサイト材料分析」他7テーマ 場所: 広島県立総合技術研究所 西部工業技術センター 参加者: 54人 第2回 平成24年1月31日 テーマ「機械設計におけるトライボロジー(摩擦・摩耗・潤滑)とその応用」 場所: 呉工業高等専門学校 参加者: 16人 第3回 平成24年2月22日 テーマ「スポーツ医学の介護予防への展開」 場所: 広島大学 参加者: 36人		継続実施
技術シーズ発掘事業	(公財)ひろしま産業振興機構	9機関 学: <u>広島工業大学、近畿大学工学部、広島市立大学、県立広島大学、広島国際大学、福山大学、広島大学</u> 官: (独法)科学技術振興機構(JST)、ひろしま産業振興機構	研究室訪問を2回実施した。 1回目: 8月4日実施、工学部機械システム工学科 王准教授研究室、53名(30団体)の参加があった。 2回目: 2月24日実施、大学院工学系研究科 情報システム科学専攻 小川准教授研究室、46名(25団体)の参加があった。	王准教授の研究シーズをベースとして「広島県金属防食技術研究会」を設立し研究会を開催した。小川准教授については、具体的な成果はない。	継続
国立高等専門学校スーパー地域産学連携事業	徳山工業高等専門学校	8機関 学: <u>米子高専、松江高専、津山高専、広島商船高専、呉高専、大島商船高専、徳山高専、宇部高専</u>	○各種全国規模での産学官連携マッチングイベントへの高専シーズ等の出展 ○第4回中国地区高専テクノ・マーケット 日時: 平成23年12月3日(土) 場所: 津山国際ホテル 内容: 基調講演(稲毛 真一工学博士)、製品・商品の高専開発成功事例発表、技術職員による技術・教育支援の事例発表、就活生向けキャリア教育等	◎中国地区8高専の連携による高専テクノ・マーケットの実施	継続実施
山口県産学公連携イノベーション創出推進委員会	(財)やまぐち産業振興財団	23機関 産: <u>山口県経営者協会、山口県商工会連合会、山口県商工会議所連合会、山口県中小企業団体中央会、(株)超高温材料研究所、日本政策金融公庫下関支店、山口キャピタル、エス・ケイ・ベンチャーズ、山口ティール・エル・オー、周南新商品創造プラザ、山口県技術交流協会</u> 学: <u>山口大学、山口県立大学、東亜大学、山口東京理科大学、徳山高専、宇部高専、大島商船高専、水産大学校、</u> 官: (財)ちゅうごく産業創造センター、山口県、(地独)山口県産業技術センター、(財)やまぐち産業振興財団	平成23年度第1回山口県産学公連携イノベーション創出委員会 日時: 平成24年3月16日(金) 場所: 翠山荘(山口市湯田) 内容: 来年度の県・財団の新規の取組内容の紹介等		予定無し

平成23年度『新結合プラン』取組実績(一覧)

平成24年9月13日
中国地域産学官コラボレーション会議

事業名	主体機関	連携機関	平成23年度実施内容	平成23年度に 生まれた成果	24年度 (計画)
やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議	(財)やまぐち産業振興財団・山口大学	<p>27機関</p> <p>産:山口ティー・エル・オー、周南新商品創造プラザ、山口県デザインセンター、山口県技術交流協会、周南地場産業振興センター、山口・防府地域工芸地場産業振興センター、山口県アクティブシニア協会、日本政策金融公庫、西京総研、山口経済研究所</p> <p>学:山口大学、水産大学校、山口県立大学、東京理科大学、香川学園、徳山大学、宇部高専、徳山高専、大島商船高専</p> <p>官:ちゅうごく産業創造センター、中国地域ニュービジネス協議会、科学技術振興機構、宇部市、山口県産業技術センター、発明協会山口県支部、山口県、やまぐち産業振興財団</p>	<p>○平成23年度定時総会 日時:平成23年6月3日 場所:翠山荘(山口市) 参加者:68名 内容:平成22年度事業報告、平成23年度事業計画(案)等</p> <p>○企画運営委員会 ・第9回企画運営委員会 日時:平成23年12月7日 場所:翠山荘(山口市) 参加者:15名 内容:平成23年度事業中間報告、平成24年度事業計画案</p> <p>・第10回企画運営委員会 日時:平成24年1月13日 場所:翠山荘(山口市) 参加者:43名 内容:平成23年度事業報告、平成24年度事業計画案等</p> <p>○幹事会 日時:平成24年3月16日 場所:翠山荘(山口市) 参加者:26名 内容:平成22年度事業報告、平成23年度事業計画案等</p> <p>○連絡会議 ・「山口イノベーション創出拠点」設備機器説明会 日時:平成23年7月26日 場所:山大等 参加者:34名 内容:機器の見学、使用方法説明</p> <p>・最新の植物工場の地方展開に関するセミナー 日時:平成23年12月7日 場所:翠山荘(山口市) 参加者:105名 内容:植物工場に関する講演会</p> <p>・講演会及びワーキンググループ活動報告 日時:平成24年1月13日 場所:翠山荘(山口市) 参加者:60名 内容:県内の産学公の連携による研究開発状況の報告等</p>	産学公の連携による研究開発の実施(9テーマ)	継続実施